

No.	資料	ページ	項目	意見・質問	回答	回答課
1	1	1	成果指標の達成状況	年度ごとの目標値の設定について、全国的な平均値や世界的な目標等と対比して、妥当なものであるのか、全国平均的に達成度が高いのか低いのかについての情報について、あれば教えてください。	目標値の設定については、目指している環境のあるべき姿や将来像に応じ地理的特性や社会条件などの概況を踏まえて設定しているため、他自治体が定めた指標との比較は行っておりません。次期計画策定時に、第2次環境基本計画を評価の上、改めて目標達成を見据えた指標を検討いたします。	環境政策課
2	1	1	いろいろ	省エネ等の環境問題を把握し、取り組んでいる市民の割合、市街地のみどりが増えて景観が良くなったと感じる市民の割合、市民一人当たりの都市公園面積、公害苦情(騒音・振動・悪臭等)件数、生活環境苦情件数などについて、目標に対して実績が大きく乖離している項目があります。原因について言及されているものもございしますが、それらの具体的な対策はいかがでしょうか？資金調達に関わる話もあるようにうかがえます。	【①省エネ等の環境問題を把握し、取り組んでいる市民の割合】 環境に対する市民全体の意識が高まってきたことで環境に配慮した行動が当たり前となり、「省エネ等の環境問題を把握し、取り組んでいる」という回答に結びつきにくい状況になっているのではないかとこのご意見を以前の環境審議会でもいただいております。引き続き、省エネなどの情報を継続的に発信し、意識向上を図っていきたくと考えております。 【⑤市街地のみどりが増えて景観が良くなったと感じる市民の割合】 【⑥市民一人当たりの都市公園面積】 基本的に都市公園などの敷地面積は変わっていないため、特にコロナ期間中の外出自粛により以前より市民がみどりと触れ合う機会が減少したことが1つの一因であると考えられます。 【⑧公害苦情件数】 公害苦情について相談を受けた場合、すべて現地調査等を行っております。その際には、原因となる者や事象に対し改善を求めており、可能な限り相談者の納得を得るようにしております。 【⑨生活環境苦情件数】 生活環境苦情件数については、相談の要素が強い内容を件数に含んでいるため、アライグマの件数の増加(+68件)、空き家・空き地に関する件数の増加(+137件)による影響で件数が増加しております。目標値の設定変更を検討したいと考えております。	環境政策課 緑化推進課 環境保全課
3	1	1	成果指標の達成状況	⑧の相談件数の増加の原因は何でしょうか？	公害苦情件数は前年度より26件増加しており、中でも油流出や魚へい死に関する相談が増えております。原因としては、コロナ禍で在宅時間が増えたため、自宅周辺の水の汚れ、騒音、悪臭等に気づく人が多くなったことや近所付き合いが減ったことによる周囲への不寛容等が考えられます。	環境保全課
4	1	2	各事業の取り組み状況	3Rの推進啓発での「事業系ごみのリサイクル推進」でのC評価の原因として「都市計画法、農地法の規制」とあるが、具体的にはどのような規制、問題なのか教えてください。	食品リサイクル業の創業を計画されていた場所は市街化調整区域であり、また、農地の開発が必要となるため、都市計画法上の開発許可及び農地法上の農地転用許可が必要です。特に、市街化調整区域における開発は、許可できる案件が一部の用途に限定されているため、リサイクル施設等は相当ハードルが高いのが現状です。現状では、早期での創業は困難な状況ですが、事業者の創業意欲が失われたわけではないため、事業者の相談等に応じながら適切な情報提供に努めていきたいと考えています。	循環型社会推進課

No.	資料	ページ	項目	意見・質問	回答	回答課
5	1	2	地産地消の推進	C評価の3つの項目の中で地産地消の推進についてもコロナの影響がございましたか？	市場データから流通量そのものが減少しているので天候によるものと考えられますが、コロナ禍による店舗等への来場者の減少による影響がないとも言えないと考えられます。	農業振興課
6	2	5	共通目標	部門毎に設定する活動指標は毎年同じでしょうか、見直しがあるのでしょうか？達成部門と未達部門で入れ替わりはどのくらいあるのでしょうか？	①全庁共通として中長期目標期間と基準年度を定めており、原則として基準年度を令和元年度、取組みの期間を令和6年度までとしています。部門ごとにこの目標設定をしたうえで各年度の活動指標を定めており、状況に応じて年度ごとに見直しを行っています。 例)中長期目標:令和6年度までに令和元年度比で〇〇を△%削減。 →令和4年度活動指標:令和6年度までに目標達成するために、令和4年度の活動指標を逆算して設定する。事業の状況や前年度の実績などに応じて調整する。 ②過去3年の状況を見る限り、5項目のうち「施設エネルギー使用量の削減」は年度によって達成・未達成の入れ替わりが多いですが、その他の4項目については7～8割の部門が前年度から引き続き達成しており、入れ替わりはあまり多くはない状況です。	環境政策課
7	2	12	4自動車燃料使用量の削減	高品質バイオディーゼルの「精製量増加の予定」とあるが、方針・見込みとして処理能力の増大と材料収集(確保)能力の増大の何れを見込んでいるか？	基本的には、精製量の増大とともに、廃食用油回収量の増大も進めていく必要があると考えていますが、回収した廃食用油の全量を、精製プラントで処理できている状況ではないため、現段階では、処理能力増大に向けたプラント改良などは考えていません。 ただ、回収している廃食用油の品質は、事業系のもは比較的安定していますが、家庭系のもはばらつきがあるため、昨年度までは事業系のもを中心に再生していました。今年度に入り、精製量も順調に増加できていますので、現在、家庭系と事業系を混合したもので精製を試みている状況です。今後は、原料(廃食用油)の品質に合わせた精製ノウハウの構築を目指すとともに、回収量の増大に向けた周知広報にも努めていきたいと考えています。	循環型社会推進課
8	4	2	1前回の中間報告内容のまとめ	拠点回収において、“きれいなプラの回収”、“選別作業が不要”とあるが、この状態は費用をかけずに保証することは可能でしょうか？費用面で問題が無いとした場合、拠点を増やす際の問題点は何がありますか？	拠点回収の場合も、例えば、ごみ箱的な拠点になってしまうと異物混入率も高まる傾向にあるため、那須塩原市のような運用面での工夫が必要だと考えています。異物混入が少なくなれば大掛かりな選別作業は不要になるため、費用面や運用面でのメリットも大きいと考えています。拠点を増やすうえでの課題としては、回収量が増えてくると、それに応じた保管スペースや中間処理(圧縮梱包)も必要になるため、佐賀市近辺でのリサイクル業者が確保できるかどうか重要な課題と考えています。	循環型社会推進課

No.	資料	ページ	項目	意見・質問	回答	回答課
9	4	3	2拠点回収の先進事例(1)プラスチック処理の現状	廃棄の手続きを経て廃棄されるプラスチックと環境中に拡散したプラスチックの両方を解決するためには品質の異なるプラスチック材の有効活用法のバリエーションを多く持つことが肝要であると考えられますが、1①材料回収、②燃料(ガス、オイル)回収、③熱・二酸化炭素回収の何れにどのくらいの比重をもって計画を進めますか？技術的な対応可能範囲も踏まえて方針と見込みについて教えてください。	確かに、品質の異なるプラスチック材の有効活用法のバリエーションを多く持つことは肝要であると考えますが、現在のリサイクルの現状では、①材料回収、②燃料(ガス、オイル)回収は、製品プラスチックを中心とした硬質プラスチックが適している傾向にあり、容器包装プラスチックを中心とした軟質系のプラスチックは、固形燃料化や③熱回収が適している傾向にあるようです。一口にプラスチックと言っても様々な種類の材質のものが存在しているため、大量に集めて材質別に選別するには、相当な労力や費用を要するのが現状です。プラスチックの再生技術はまだまだ発展途上にあるのが現状だと思いますので、今後とも、リサイクル技術に関する情報収集等も行いながら、本市にとって最適な方法を検討していきたいと考えています。	循環型社会推進課
10	4	6	回収量の問題	拠点回収の場合、回収量が少ない傾向、とありますが、具体的にどのくらいの量が回収できて、どのくらいを目標としているのでしょうか？那須塩原市の結果を受けて、佐賀市ではどちらの回収法が望ましいと考えるのでしょうか？	燃えるごみの組成調査結果から、プラスチックの排出量全体に占める割合は、製品プラは1～2割、容器包装プラは8～9割程度ではないかと推定しています。多くを占める容器包装プラは、生ごみなどが付着したものが多くなるため、きれいなプラの回収(質)を目指すのであれば、製品プラを中心に回収することが有効ではないかと考えますが、その分、回収量は少なくなると考えられます。 また、多くの回収量を目指すのであれば、中間処理施設の確保が必要となりますが、今後、代替素材の普及や製造段階でのプラ使用量削減など、プラスチック製品を取り巻く社会情勢の変化が見込まれる現状では、仮に中間処理施設の確保ができたとしても、将来的にオーバースペックとなることも想定されます。こうした現状を踏まえると、目標の設定には、費用対効果や脱炭素効果などを考慮しながら慎重な検討が必要と考えており、那須塩原市のような、環境負荷が低く、コストをかけない、質の高いリサイクルを目指すコンセプトは、本市にとっても多いに参考にすべき事例ではないかと考えています。	循環型社会推進課